

『第1回 由良川流域治水協議会』を開催

～流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を計画的に推進～

近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、由良川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とし、8月28日（金）に「由良川流域治水協議会」を設立しました。

- 日 時：令和2年8月28日（金） 15時～16時
- 場 所：京都府立中丹勤労者福祉会館（大会議室）
- 構成員：11名
（流域8市町のうち5人の首長が出席）
- マスコミ：8社
- 議事概要：
 - (1) 設立趣旨
 - (2) 協議会規約（案）
 - (3) 協議会での検討事項
 - (4) 今後の進め方
 - (5) 意見交換



第1回 由良川流域治水協議会の様子

第1回 由良川流域治水協議会 主な意見



福知山市 大橋市長

● 浸水被害が発生した時、地域や市民にとっては水がどこから来たかは関係ない。そういった意味で、流域全体で治水を考えることには大変大きな意義がある。また、今の降雨は気候変動による影響が大きいと感じており、すべてをハード対策で対応するのは難しく、この協議会の中で避難も含めたソフト対策も検討していく必要性があると思う。（福知山市長）



南丹市 西村市長

● 各市町の事情に応じた具体的な取組をそれぞれどのように進めていくかが今後の課題である。（南丹市長）



丹波市 谷口市長

● 広域の連携は必要不可欠と思っており、設立の趣旨には賛同する。（丹波市長）



綾部市 山崎市長

● 本川だけの堤防強化や内水対策では、想定外の降雨には敵わない。集水域で由良川へ流れ出る水をどれだけ減らせるかが重要で、こういった視点で考えられていることは非常に合理的だと思う。（綾部市長）



京丹波町 太田町長

● 住民の流出により管理されなくなった山林や水田は荒れてくるため、山林や農業の政策がどうなっているかが非常に大きく影響すると思う。（京丹波町長）



福知山河川国道事務所 矢野所長

● 各機関の計画を流域として一つにまとめて、これまで取り組んで来た避難や水防に関する対策の検討とともに、住民の方に分かりやすく説明する事は充分検討していきたい。（福知山河川国道事務所長）



※写真撮影のため一時的にマスクを外しています

協議会の構成メンバー	
構成員職名	氏名
福知山市長	大橋 一夫
舞鶴市長	多々見 良三 ※
綾部市長	山崎 善也
宮津市長	城崎 雅文 ※
南丹市長	西村 良平
京丹波町長	太田 昇
丹波篠山市長	酒井 隆明 ※
丹波市長	谷口 進一
京都府 建設交通部理事	崎谷 和貴
兵庫県 総合治水課長	勝野 真 ※
福知山河川国道事務所長	矢野 則弘

※当日代理

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課
〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 TEL 0773-22-5104（代表）

